

1 学校いじめ防止基本方針

(1) いじめ問題への学校の基本的な考え

- いじめは、いつでも誰にでも起こるという事実をもとに、全教職員でいじめ問題及びいじめ防止に取り組む。
- 早期発見、未然防止の理念のもと、教職員の研修を充実させ、いじめについての認識を全児童、全教職員、また家庭や地域と共通理解を図る。
- 児童同士、児童と教職員との信頼関係の構築をもとにした、安心・安全な学校生活を創造していく。
- 規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加・活躍できるような授業づくりや集団づくり、学校づくりを推進する。
- 互いに認め合える好ましい人間関係を児童自ら創造できる取組を推進する。
- 好ましい人間関係育成プログラムに基づき、体系的、計画的な取組を継続して行う。
- 生徒指導の機能である「自己決定」「自己存在感」「共感的理解」を生かした学級経営や授業を具現化する。
- いじめ防止に関わる本校の取組に関して、家庭・地域に開示し、協力しながら取組を進めていく。

(2) いじめ問題防止に向けた組織体制【いじめ防止対策推進会議】

担当者	任務内容
校長	代表、全体指揮
教頭	事務局長、関係機関との連携
教務主任	保護者地域への啓発
生徒指導主任	年間推進計画の作成、好ましい人間関係育成プログラムの検証・改善情報収集及び分析、アンケート調査の実施・集計
教育相談主任・養護教諭	教育相談活動の実施
人権教育主任	年間推進計画の作成、アンケート調査の実施・集計、情報収集及び分析

2 いじめの早期発見・早期対応に向けて

(1) いじめの防止・早期発見・対処等について

- 授業改善にかかわる取組
- 児童の人間関係、集団づくり、社会性の育成を目標とした取組
- いじめに関する学習
- いじめ防止にかかわる児童会の取組
- 保護者や地域に対する啓発の取組
- 児童アンケート等定期的な調査や個人面談
- 教職員研修の充実
- 情報モラルにかかわる児童への指導と保護者への啓発
- 自己肯定感や自己有用感を高める取組

上川口小学校 いじめ防止対策推進 フロー図

